

[人権全般]

記号	番号	題名	内容	企画・発売元	時間(分)	制作年	VHS/DVD
A	1	言葉と差別	時には、言葉はつづてと化して人の心を叩き、時には、鋭い刃物となって命までも奪う。「何気なく」発言したというが、人はその心の底にひそむ差別の目に気づかない。言葉が持っている背景を探り、意味を問いなおし、“差別を許さない”という認識を、自分のものとしよう。	東映(株)	18	1987	VHS
A	2	私たちと人権(家庭編)	固いきずなで結ばれている家族の中にも色々な物の見方や考え方、意識の違いがある。そうした身近な問題を色々な角度から提起し、私たちが、なぜ、このような意識や考え方にとられるのか、それをなくするにはどうすればよいか考える。	北九州市同和問題啓発推進協議会	26	1989	VHS
A	3	言葉と差別パートII	言葉は生き物である。「使ってはいけない」と押し込めたり、「別の用語を当てれば」と“置き換え”るだけでは、「言葉」と「差別」のつながりをおさえることはできない。この言葉のもつ歴史やその行動の意味を問いただし、人権の接点を明らかにしていく。	東映(株)	23	1989	VHS
A	4	私たちと人権(職場編)	家庭編に続く作品。職場に焦点をあて、職場の一人ひとりがお互いの立場を尊重し、人権意識を高めて行けば、明るく、楽しい職場になること、そのためにはどうすればよいか、私たちの意識やものの考え方について、色々な角度から問題を提起する。	北九州市同和問題啓発推進協議会	29	1990	VHS
A	5	私たちと人権(課題編)	家庭編、職場編に続く作品。家庭や職場、地域におけるさまざまな差別(女性、障害者、高齢者、同和地区出身者、外国人に対する差別)について、自分の人権意識を問い直すことを訴える。	北九州市同和問題啓発推進協議会	30	1992	VHS
A	6	蛍の舞う街で【アニメ】	2つの家族の交流を中心に物語を展開し、私たちが日常生活の中でごく当たり前のこと、常識だと思ってることの中にも様々な人権問題が潜んでいることやお互いを尊重していくための自立と共生、家族のきずな、地域社会の連帯等をなげかけている映画。	北九州市／北九州市教育委員会／北九州市同和問題啓発推進協議会	42	1997	VHS
A	7	ヒューマンライツ・シンフォニー ―辰巳琢郎がご案内する世界人権宣言と我が国の人権擁護機関―	案内役の辰巳琢郎と一緒に人類の輝かしい財産である人権について考えることをねらいとしたビデオ。世界人権宣言の重要性、我が国の人権問題や人権擁護機関の取組みについて解説する。	法務省人権擁護局	40	1997	VHS
A	8	こころの架け橋	大自然を背景に、森を守り、森とともに生きる人々のたくましさを描きながら、老練な山の作業員と、森林組合に働く都会育ちの青年との交流を中心に、彼らを取り巻く家族や周囲の人々の心模様を描いています。共に生きることの素晴らしさを訴える作品。	兵庫県／(財)兵庫県人権啓発協会	50	1998	VHS
A	9	雲が晴れた日	祖母の介護の問題に直面したある家族が、高齢者、女性、障害者、外国人、同和地区出身だからといった差別をしていたことに気づき、それを克服して助け合っていこうとするまでの物語。中学生の主人公の目を通して、共生と人権という問題を身近なものとしてとらえることのできる作品。	東映(株)	53	1998	VHS
A	10	世界中の全ての人々のために ―世界人権宣言のできるまで―	世界人権宣言が1948(昭和23)年の第3回国連総会で採択されるまでの、貴重な映像の数々を収録した国際連合製作のドキュメンタリービデオ。「人権」という考え方がどのようにして生まれ、真に普遍的な文書を作成するために国際社会がどのようにして言葉や文化そして冷戦の障壁を乗り越えてきたかを教えてくれる。	国際連合広報センター／(財)人権教育啓発推進センター	30	1998	VHS
A	11	心ひらく時	この映画では、人権を身近なものとして感じるきっかけとなるように、いろいろな人権を描いている。自分が思っていることは、本当に正しいのか、自分も誰かを傷つけていないか・・・主人公と共に、見る人の心をひらいていくことをねらいとしている。	法務省人権擁護局／(財)人権教育啓発推進センター	55	1999	VHS

記号	番号	題名	内容	企画・発売元	時間(分)	制作年	VHS/DVD
A	12	夢の箱	結婚を機に日本で生活することになったタイ出身の女性を中心に、彼女と彼女の家族が出会う様々な場面を通して、一人一人が、お互いの文化や生活習慣の違いを認め合い、理解していくことの大切さを描く。	法務省人権擁護局／(財)人権教育啓発推進センター	50	2000	VHS
A	13	心のメガネ 曇っていませんか？	人間には勘違いや思い込みが多いものです。勘違いが一方的な思い込みになり、それがその人の心の中に固まってしまうと偏見になって人権の問題につながる場合がある。この映画では、日常生活の中にみられるいくつかの事例を紹介して、思い込みや偏見がどうして形成されていくのか、どうすればそれをなくしていけるのかを考えていく。	北九州市同和問題啓発推進協議会／北九州市	20	2000	VHS
A	14	戦争の傷あと “Legacies of War”	第二次世界大戦中の不発弾が残る世界で生活する家族や内戦により崩壊した社会の復興に向けて立ち上がる人々など、戦争が残した傷あとと向き合い、そこから立ち直ろうとする市民たちのドキュメンタリー。日本に暮らす私たちが直接目にすることや耳にすることの難しい現実を認識し、平和の基礎をなす“人権”を広い視野でとらえるきっかけとなるビデオ。	国際連合広報センター／(財)人権教育啓発推進センター	31	2001	VHS
A	15	みんなで作ろう人権文化 -公務員編-	公務員に求められる人権的配慮 事例1 税務職員のリターン録／事例2 車椅子で生活する、ある女性の話	宮崎県	19	2000	VHS
A	16	みんなで作ろう人権文化 -福祉関係者編-	福祉関係者に求められる人権的配慮 事例1 介護を受ける人の人権について ある社会福祉施設利用者の家族の手記／事例2 社会福祉施設で働くある新人介護士の手記	宮崎県	17	2000	VHS
A	17	みんなで作ろう人権文化 -医療関係者編-	医療関係者に求められる人権的配慮 事例1 インフォームドコンセントにまつわる、ある医師の話／事例2 患者への人権的配慮について ある看護婦の手記	宮崎県	19	2000	VHS
A	18	夢、空高く【アニメ】	中学2年生の高野真一は、成績優秀な生徒だが、一流高校や大学に入れという両親の期待に応えることが、心のストレスとなって、いじめの仲間に加わっていた。そんな真一のつらい気持ちを唯一、理解してくれるのは、インターネットの「心の相談室」のグリーンさんだった。絵を描くことが好きな真一は、ゴッホという名前でメール交流をしていた。	北九州市／北九州市教育委員会／北九州市同和問題啓発推進協議会	41	2001	VHS
A	19	内藤剛志の中学生トークライブ	法務省及び全国人権擁護委員連合会では、人権尊重の大切さや基本的人権についての理解を深め、豊かな人権感覚を身に付けてもらうことを目的に、全国中学生人権作文コンテストを毎年実施している。2001(平成13)年12月に発表された第21回中央大会入賞作品の中から二つの作品を紹介するとともに、俳優の内藤剛志さんとスタジオに集まった中学生によるトークが展開される。	法務省人権擁護局／(財)人権教育啓発推進センター	30	2001	VHS
A	20	もう一人の私 ~個人情報保護	現代社会では、私たちの個人情報、行政機関だけではなく民間企業や団体などのいたるところに蓄積されており、コンピュータ技術の進歩にとまらぬ、それらの情報が一瞬にして大量に外部へ流出して深刻な人権侵害を引き起こす危険性をはらんでいる。現代社会においてますます重要性を帯びてきたプライバシーの権利、個人情報保護をテーマに私たちの人権について学ぶ。	人権啓発ビデオ制作委員会／(社)部落解放・人権研究所／大阪府／大阪市／堺市	27	2002	VHS
A	21	ワークショップは技より心	人権教育・啓発の手法のひとつである「ワークショップ」の実践例を収録・解説する。	(財)人権教育啓発推進センター	26	2000	VHS
A	22	人権ってなあに1(入門篇) あなたへのメッセージ -Living Together-	一言で「人権」と言ってもその内容は多種多様。人種、民族、女性、子どもetc。言葉では捉えにくい「人権」を各界で活躍する5人の方々が、実際の体験から分かりやすく語るメッセージ集。	(社)神奈川人権センター	41	1999	VHS

記号	番号	題名	内容	企画・発売元	時間(分)	制作年	VHS/DVD
A	23	人権ってなあに2(女性篇) ジェンダーフリー -Gender Free 男女共同参画社会へ-	セクハラ、夫婦別姓、家事や育児の役割分担などの問題。それらの根底には「ジェンダー(社会習慣や文化によって形成された性別役割)」意識がある。性別を問わず自由に生きられる「ジェンダー・フリー」な社会を目指して取り組む人々の姿を紹介する。	(社) 神奈川人権センター	25	1999	VHS
A	24	人権ってなあに3(在日外国人篇) わいわいごちゃごちゃ -多文化・多民族共生の街-	神戸市長田区と川崎市を舞台に在日韓国・朝鮮人の取組みと、共に活動する日本人の姿を紹介。「在日」の歴史も織りまぜ、「わいわいごちゃごちゃ」-街に暮らす様々な民族の人たちが共に生きていくことの大切さを探る。	(社) 神奈川人権センター	34	2000	VHS
A	25	人権ってなあに4(部落篇) 沖浦和光が語る 被差別民が担った文化と芸能 -日本文化の地下伏流-	全国各地の数百にのぼる被差別部落を訪れ、伝承されてきた芸能と産業技術を研究してきた沖浦和光さん。この作品では、沖浦さんの研究成果をもとに、大阪、奈良、浅草に、被差別民衆が担ってきた芸能の歴史をたどる。教科書からは知ることのできない、日本の文化と芸能を通底する大きな流れを、沖浦さんのフィールドワークから掘り起こす。	(社) 神奈川人権センター	43	2000	VHS
A	26	人権ってなあに5(移住外国人篇) いっしょに歩こう -豊かな国際社会をめざして-	働く場を求め日本にきた外国人が直面する低賃金、社会保障無しの劣悪で不安定な労働条件、企業や地域社会での根深い偏見や差別。様々な人権侵害のなかで自ら声を挙げ、手を結び、日本社会のなかで生きようとする外国人と、彼らをサポートする日本人が一緒になって、地域社会での共生の道を探ろうと模索する姿を追う。	(社) 神奈川人権センター	45	2001	VHS
A	27	人権ってなあに6(子ども篇) いきいき生きる -子どもの権利とエンパワーメント-	中高生の居場所“ゆう杉並”の運営にたずさわる中高生委員たち、子どもの視点から身近な問題を考える情報誌を自力で発行する大阪「EFC」の子どもたち。彼らが自立に向けいきいきと活動する姿を追い、虐待やいじめ、性的搾取などの問題にも触れ、エンパワーメントのあり方を探る。	(社) 神奈川人権センター	35	2001	VHS
A	28	世界人権宣言	1948年に国連総会で採択された「世界人権宣言」の30条を、映像とアグネス・チャンさんのナレーションで解説。子どもにもわかりやすい内容	アムネスティ・インターナショナル日本支部	18	1988	VHS
A	29	私自身を見てください 固定観念・ステレオタイプ	私たちの暮らしの中にある身近な固定観念・ステレオタイプ・偏見をドラマと解説の2部構成で問題提起していく。人権研修・ワークショップでの活用に最適な新しいタイプのビデオ。	人権啓発ビデオ制作委員会/社部落解放・人権研究所/大阪府/大阪市/堺市	27	2001	VHS
A	30	採用と選考 いま一度、見直してみませんか	ある企業の人事課。鈴木係長の目を通して、採用基準の策定から内定までの段階を一つ一つ積み上げながら、『公正な採用選考』とは何か、考察していく。また、日頃は厳しい目で部下を指導する山下部長の若い頃の失敗談なども交え、採用選考についてリアリティーのある分かりやすい構成となっている。	東映(株)	25	1999	VHS
A	31	私たちと人権 ~赤ちゃんのささやき~	家庭編、職場編、課題編と続いた「私たちと人権」シリーズの第4作。同じ会社に勤める恋人同士の、職場や家庭での日常生活を舞台に、社会の様々な側面がいかにか人権と密接に関わっているかを描く。	北九州市同和問題啓発推進協議会	31	1997	VHS
A	32	参加型学習「人権」~ファシリテーターへの道しるべ~	近年、人権教育/人権研修において積極的に取り入れられている参加型学習。さまざまな「発見」や「気づき」から、参加者一人ひとりが自分のできることを自覚し実際の行動に結びつける「人権文化の創造」をめざす。このビデオでは参加型学習の具体例とファシリテーター(進行役)の役割などを実際の人権研修の場面に沿って紹介する。	(財)アジア・太平洋人権情報センター	30	1999	VHS
A	33	参加型学習「人権」~ファシリテーターへの第一歩~	人権について対話し、共同作業(ワークショップ)を進める参加型学習の手法について、実際の研修プログラム事例を詳細に紹介し、解説する。参加者の一人ひとりが、自分の経験、資質、可能性にもとづき、自分の言葉で話しアクションする参加型学習。とくに、登場する3人のファシリテーターのスキルや態度、個性に視点をのいた作品。	(財)アジア・太平洋人権情報センター	30	2000	VHS

記号	番号	題名	内容	企画・発売元	時間(分)	制作年	VHS/DVD
A	34	街かどから	閑静な住宅街で起こった事故をきっかけに、地域社会の人間関係の希薄さや、人々の身勝手さが浮き彫りになる。地域社会でともに暮らす人々が、大人、若者、外国人などの枠を越えた交流を図り、偏見や、異質性を排除する意識に気づき、お互いを思いやる豊かな人間関係を育むにはどうすればよいかを問う。	兵庫県、兵庫県教育委員会／(財)兵庫県人権啓発協会	25	2000	VHS
A	35	風かよう道	古い因習にとらわれている主婦とその家族を通して、六曜、占い、穢れなどが差別意識を形成する土壌となっていることを提起する。また、今日的な問題であるコンピューターを悪用した差別事件も絡めて展開する。	和歌山県同和委員会	35	2000	VHS
A	36	こころの交響楽(シンフォニー) 【アニメ】	子育てに悩む若い母親、年老いて自らを見捨てている老人、夫に従うのが妻の道と思い自分を忘れていた女性、そして、二人の少年。家庭や身近なところで起こる言葉や力による暴力の問題を取り上げ、「人間の尊厳・いのちの尊さ」、「自他共によりよく生きていくためには何が必要か」、「家族のあり方」などを考える。	北九州市／北九州市教育委員会／北九州市同和問題啓発推進協議会	43	2001	VHS
A	37	ま・さ・か わたしが	マスメディアから大量の情報を受け取ることができる一方、携帯電話やインターネットなど不特定多数の人に瞬時に情報発信できるようになった現在。「まさか、私の流した情報がこんなに人を苦しめるとは…」「まさか、私がかんな目にあうなんて…」情報社会において、どうすれば豊かな人間関係を築き、お互いの人権を尊重できるか問いかける。	兵庫県／兵庫県教育委員会／(財)兵庫県人権啓発協会	25	2001	VHS
A	38	人権ってなあに7 (メッセージ篇2) あなたへのメッセージ PART2	言葉では捉えにくい「人権」を各界で活躍する方々が、実際の体験から分かりやすく語るメッセージ集の第2弾。東ちづるさん、川田龍平さん、星野昌子さん、中坊公平さん、白井貴子さんのメッセージでつづる。	(社)神奈川人権センター	44	2003	VHS
A	39	人権ってなあに8(HIV篇) 風よ雲よ伝えてよ -HIV・AIDSと共に生きる-	日本におけるHIV感染者の増加や、感染者への偏見の背景には、HIV/AIDSに対する無理解がある。AIDSの正しい知識の普及、啓発を通して根深い差別と闘う人たちの思いや活動を紹介し、HIV/AIDSと共に生きる社会について考える。	(社)神奈川人権センター	38	2003	VHS
A	40	「私」のない私 ~同調と傍観~	両親の言いつけを守り、まじめに働く主人公は、周囲で起こる様々な事件の前で、「おかしい」と思いながらも、上司ににらまれることを恐れて「俺には関係ないこと」と流れに身を任せてしまうが…。人権侵害に気づいているのに行動できない私。行動化を妨げている同調と傍観について、ドラマと解説部の2部構成で問題提起している。	人権啓発ビデオ制作委員会(社団法人部落解放・人権研究所／大阪府／大阪市／堺市)	30	2003	VHS
A	41	陽だまりの家 【アニメ】	誰もが幸せになるためには、まず自分の生き方を自分自身が認め、相手の生き方も同じように認めることが大切。この映画は、一人の女性とその娘が、いろいろな出会いを通して成長していく姿を描く。「自分を認めるとは…」「相手を認めるとは」「生命の尊さとは…」「共生とは…」といった視点から人権問題を考える。	北九州市／北九州市教育委員会／北九州市人権問題啓発推進協議会	42	2003	VHS
A	42	Meet the ヒューマンライツ 若者たちが出会った人々	6人の若者たちが、人権問題に取り組んでいる人や当事者たちと実際に会い、率直に話し合い、日常的に無自覚に行われてきた言動に潜む「偏見や差別」を自覚する。その「発見」は、人権問題を他人事としてではなく自分自身の問題として考えることにつながる。この作品は、若者たちの「人権」との出会いと発見を彼ら自身の言葉で描いたドキュメンタリーである。	東京都教育委員会	27	2002	VHS
A	43	桂文福のふれあい人権 真の笑いは平等な心から-	真の笑いは平等な心から…落語家・桂文福さんの講演テーマである。落語で会場の雰囲気盛り上げながら、自己の体験をもとにした「ふれあい人権 真の笑いは平等な心から」は、古典落語の中にある差別、職業差別、障害者や外国人への偏見、子どもの人権など様々な人権問題が語られる。	メディア総合研究所／風楽創作事務所	25	2002	VHS

記号	番号	題名	内容	企画・発売元	時間(分)	制作年	VHS/DVD
A	44	善良な人々	どこにもある家族の日常を、異なる観点から3話のオムニバス形式で描く。そこには、平凡でありながら多くの社会的呪縛の中で生きる姿がある。その関係が幻想だとしたら…。その呪縛によって差別がうまれるなら…。どこにもある善良、それを疑うことからはじめる…。これがこのビデオの一つの問題提起である。	徳島県／(財)徳島県同和対策推進会	56	2003	VHS
A	45	マイ・プロジェクト	このビデオは企業での職場研修の教材として、研修目的に応じて活用できるよう2話のオムニバス形式で構成されている。研修参加者の「話し合い学習」に話題を提供する観点から、それぞれの主人公が「『マイ・プロジェクト』とは何か」を問いかけ、様々な人権問題に一人一人がどう対処すべきかを考えることで、人権を尊重する行動につながることをねらいとしている。	滋賀県	60	2003	VHS
A	46	私たちと人権(子育て編) ～愛ちゃんのつぶやき～	「子育て」は「親育ち」ともいわれる。子どもの成長に合わせて親自身も人間的に成長しなくてはならない。この映画では、共働き夫婦が子育てをする過程での、職場や家庭においての人権に関わる問題を取り上げ、私たちの人権意識について問題提起している。	北九州市人権問題啓発推進協議会	32	2004	VHS
A	47	めばえの朝 (あした) 【アニメ】	「人権尊重は大事なこと」というのは誰もが分かっているだろうが、自分や周りの人の言動を振り返ってみると、自己中心的な考え方や固定観念、他人の意見などに左右され相手を認めようとしにくいこともあるのではないだろうか。この映画は、新しい生命の誕生を控えた家族とその周りの人々のふれあいや葛藤を通して、「相手を理解すること」、「尊重し合うこと」、「自分の問題として行動すること」の大切さやすばらしさを描いている。	北九州市／北九州市教育委員会	41	2004	VHS
A	48	仮免許 練習中	私たちは、日々の生活への不満や展望の持てない未来への不安に苛立ち、自分自身の誇りを見失うことがある。そうしたとき、自分と他人を比べ、弱い者を否定し、自分が優位に立っているという錯覚を得ようとすることもあるのではないだろうか。息子の交通事故をきっかけに自尊感情を失った親子が、考え、悩み、自らの誇りを取り戻していく姿を通して、生きる活力を呼び起こす作品。	神戸市／神戸市教育委員会	30	2004	VHS
A	49	人権に向きあうための6つの素材(エピソード) ～街に、暮らしに、あなたのとなりに～	私たちが当たり前としてきた言動や習慣、社会システムなどの中に、人権問題の芽が潜んでいないだろうか。人権問題は自分の周辺でいつでも起こりうることで、そして、誰もが人権をめぐる、どんな立場にも立つ可能性があることを、DV、高齢者や障害者の人権、報道被害、HIV感染症、同和問題などに関するミニドラマを通して考える作品。	東京都教育委員会	27	2004	VHS
A	50	風と大地と梨の木と 第1章 故郷はひとつ	故郷で梨づくりを始めて6年目の信彦一家。そこへ大学での親友高岡が帰郷してきた。彼は同和地区の出身で、家族を都会へ残してのUターン。信彦の母ツネは、世間体を思うあまり、高岡との度をすぎる付き合いは、この村ではできないと厳しく諭し、信彦と対立する。ついにツネは、高岡に体よく付き合いを断る。自分たちに今できることは？ 信彦たち一家は、高岡をめぐる…。	鳥取県／(財)鳥取県部落解放研究所	45	1997	VHS
A	51	風と大地と梨の木と 第2章 カナエの結婚	信彦の妹カナエが、結婚の報告に帰ってきた。結婚式は盛大にと盛り上がる中、カナエは婚約者である浩一の写真を二人に見せた。手にした信彦は絶句する。写真の男性は、車椅子に乗っている障害者。反対する信彦を見て高岡は、「おまえは、俺を通して何を学んできたんだ」と叱咤する。そして意を決した信彦がカナエのマンションで見たものは…。	鳥取県／(財)鳥取県部落解放研究所	40	1997	VHS

記号	番号	題名	内容	企画・発売元	時間(分)	制作年	VHS/DVD
A	52	風と大地と梨の木と 第3章 老いのいきさき	牧原家に一人の女性(志津)がツネを訪ねてきた。驚くツネに彼女は「夫の横暴な振る舞いに辛抱しきれず、これまでの人生を見つめ直したい」と言う。ツネはそんな志津を受け入れ、信彦に志津が当分の間滞在する旨を告げる。翌日信彦は、町で志津がけがで不自由な夫をおいて家出したとの噂に驚き、妻のちえに相談する。ちえも受け入れる姿勢を見せる中、ひとり困惑する信彦は…。	鳥取県／ (財)鳥取県部落解放研究所	56	1999	VHS
A	53	風と大地と梨の木と 第4章 WE ARE ONE	牧原家の子どもたちもすっかり大きくなり、淳は中2、もゆるは小6。父信彦は、海外研修のため梨園を淳と研修生の小谷にまかせて出発した。ある日、淳の同級生清水明俊が、牧原家の夕食に招待された。清水は日本人の父と韓国人の母の間に生まれたが、父は清水を認知しないまま彼と母を捨て、その後母にも見放され、韓国籍のまま児童施設で暮らしている。話が進路や家族のことに及び、清水に緊張が走った…。	鳥取県／ (財)鳥取県部落解放研究所	51	2002	VHS
A	54	絵のある町	大阪郊外の公園で、青空保育のリーダーを務める武見紀子は、育児に悩む主婦のよき相談相手だったが、最近母を病気で亡くした孫の駿が自分に心を開かないのを苦しめていた。紀子は、公園活動を映像に収める大学生の水木亜弥の提案で、公園の壁にみんなで絵を描くことにする。だが、新メンバーの外国人マリの絵が塗りつぶされ、会は存続の危機を迎える。	大阪府教育委員会	54	2002	VHS
A	55	国際人権を知っていますか～国連と市民のとりくみ～	人権は、いまや一国だけの問題ではなく、国際的な基準や仕組みをつくり、国際社会全体でとりくむべき課題となっている。このビデオでは、1948年の世界人権宣言採択にはじまり、2001年の国連反人種主義・差別撤廃世界会議などにもふれ、これまでの国際社会の取組みの歴史と最新の情報もありこまれている。	大阪府／大阪市	25	2003	VHS
A	56	人権ってなあに9 (野宿生活者篇) 温もりある社会を～野宿生活者とともに～	全国の野宿生活者(ホームレス)は厚生労働省の調査だけでも2万5千人を超える。企業の倒産、リストラなど社会的要因によるもので、その数は年々増加の一途をたどっており、新たな人権問題となっている。このビデオでは、野宿生活者の現状や前向きに生きようとする姿をはじめ、彼らを仲間として支える市民の活動や行政の取組みを紹介し、温もりある地域社会のあり方を探る。	(社)神奈川人権センター	40	2004	VHS
A	57	人権ってなあに10 (障害者篇) この街で一緒に～あなたへのメッセージ～	視覚障害、身体障害、精神障害、知的障害などさまざまな障害のある4人の人たちからのメッセージ集。	(社)神奈川人権センター	42	2004	VHS
A	58	私たちの人権宣言 一転校生はおばあちゃん!?-	とある中学校に転校してきた74歳のおばあさん。戦争時代を生きた辛い経験を中学生たちが知り、子どもだから、高齢者だからなどという理由による人権侵害が、どうしたらなくなるか考えていく。	法務省人権擁護局／財団法人人権教育啓発推進センター	50	2004	VHS
A	59	旅立ちの日に 【アニメ】	あるウェディングコーディネーターが、手作りの結婚式の企画に携わる過程で、登場するそれぞれの人の力で家族の問題や世間体の問題などを解決し、自分の子凝り成る見えない障壁を壊し、「心のバリアフリー」を形成していく様子を描いた作品。	北九州市／北九州市教育委員会・北九州市人権問題啓発推進協議会	40	2005	VHS
A	60	人権の扉をひらく 一気づいてますか? 身近な人権-	ミニドラマとナレーションで構成。人権に関する「気づき」を大切に、安易に同調するのではなく、人を「個」として捉え、主語を一人称にして考えることの重要性を訴える作品。	東映(株)	25	2004	VHS
A	61	おじいちゃんの花火 【アニメ】	交通事故で両親を失い、自分自身も障害を持つようになった女子中学生が、花火職人の祖父に会いに出る冒険、それを助けるメール友達や介助犬の活躍などを通し、様々な人権問題を描く。	東京都教育委員会	25	1998	VHS

記号	番号	題名	内容	企画・発売元	時間(分)	制作年	VHS/DVD
A	62	人権ショートストーリー 山本家の場合	ミニドラマとナレーションで構成。人権に関する「気づき」を大切に、安易に同調するのではなく、人を「個」として捉え、主語を一人称にして考えることの重要性を訴える作品。	岡山市同和対策室	13	1999	VHS
A	63	人権入門 日常から考える10のヒント	人権は、それを侵害されている人の問題ではなく、すべての人、一人ひとりの大切な想い。日常生活の中に、「人権」について考えるヒントはある。あるサラリーマンの1日を通して人権を考えていく作品。	東映(株)	23	2005	VHS
A	64	見えないライン	差別は心の問題?心に宿る差別を理性で抑えれば差別がなくなる?差別を固有の課題から見つめるだけでなく、社会全体の中で位置づけて考え、その上に立って一人ひとりの人権が守られる社会のあり方を考える。	徳島県・(財)徳島県同和対策推進会	55	2005	VHS
A	65	心のキャッチボール【アニメ】	父親の死をきっかけに「夢」に疑念を抱き、「現実」と葛藤しながらも、自分の中の「甘え」や「逃げ」に立ち向かうことができるようになっていく中学生の姿を通し、「他人を尊重して行動すること」「自己を肯定し、自分を大事にすること」などの大切さを学ぶ。	北九州市・北九州市教育委員会	23	2004	VHS
A	66	Jun&Keiの企業と人権	企業の社会的責任を問い直し、人権問題を自らの生き方や仕事にも結びつけていくための人権研修のあり方が求められている。個人情報、男性・女性、障害者、外国人、部落差別などの人権課題を考えていくためのキーワードがたくさん盛り込まれた作品。	(株)フルーク	30	2005	VHS
A	67	この空の下で【アニメ】	専業主婦の主人公。夫は仕事が忙しく会話も少ない。娘は思春期真っ只中、義母には認知症の兆候が出てきた。そんな悩める状況の中で、初めて町内会長が回ってきた。ある日、「ゴミ出し」をめぐるトラブルが起きた。「深夜ゴミを出したのは『多国籍アパート』に住む外国人たちに違いない」と住民間のトラブルを抱え込む羽目に。しかし、そのことで逆に、地域住民との輪が広がりはじめる。	北九州市・北九州教育委員会・北九州人権問題啓発推進協議会	42	2006	VHS
A	68	青春のヒューマン・ステージ	演劇部員の女子高校生。家に帰ると、差別を乗り越えて結婚した姉が義父の発言が原因で戻ってきていた。そのことがきっかけで、同和問題と様々な人権問題の根っここのところでは同じだと学んでいく。	(財)福岡県人権啓発情報センター・人権啓発ビデオ制作委員会	31	2006	DVD
A	69	人権ってなあに11 (アイヌ民族編) チャランケ~アイヌ民族の人権~	北海道に昔から暮らすアイヌ民族。和人(日本人)による支配によって、土地を奪われ、生活習慣や言語も禁止され、民族としての尊厳を侵されてきた。このビデオは北海道を離れ、東京、首都圏で暮らす古老や若いアイヌを訪ね、民族としての誇りをもって生きる姿や取り組みを追う。	(社)神奈川人権センター	40	2006	VHS
A	70	人権ってなあに12 (男女平等編) 誰でもどこでも~男女平等をめざして~	男女雇用機会均等法制定から20年。男女共同参画社会基本法も制定されたものの、正規労働者は減少し、パート、アルバイト、嘱託、派遣などの非正規労働者が増大している。このビデオは、女性たちの声に耳を傾け、均等待遇、女性の人権を確立する活動をとりあげ、男女平等に向けた可能性を考える。	(社)神奈川人権センター	40	2006	VHS
A	71	人権感覚のアンテナって?~人権侵害・差別がみえてくる~	毎日、仕事に追われている女性が人権啓発担当者として配置される。「差別がいけないなんて当たり前」と思っていた彼女は、さまざまな人権侵害・差別が起きていることに驚く。やがて、関心を持って考えなければ人権侵害・差別はなかなか見えてこないという社会の無関心という落とし穴に気づいていく。※ドラマ部と解説部の二部構成。	人権啓発ビデオ制作委員会(社団法人部落解放・人権研究所/大阪府/大阪市/堺市)	39	2006	VHS
A	72	MABUI	戦後直後の沖縄を舞台に、その時代をたくましく生きた少年たちの成長を描いた青春ドラマ。	映画「MABUI」制作委員会	96	1996	DVD

記号	番号	題名	内容	企画・発売元	時間(分)	制作年	VHS/DVD
A	73	ヒロシマに一番電車が走った	戦地に召集された男たちに代わり、広島路面電車は10代の少女たちが動かしていた。15歳の春川弥生は、朝の車掌業務に就く際に被爆、最愛の母と大勢の仲間を失い悲嘆にくれる。しかし、被爆からわずか3日後、廃墟の中を弥生の乗った電車が警笛を高らかに鳴らして走り始めた。NHK広島放送局の被爆体験募集に寄せられた300通を超える手記をもとに、紙と絶望の中で生き抜こうとするひとりの少女の健気な姿をアニメーションで描く。	NHK	32	2005	DVD
A	74	夏服の少女たち	終戦直前の広島。物資が極端に乏しい中で、旧広島県立第一高等女学校の生徒たちは、母親のお古をほどいて夏服を繕う。しかし、心待ちにしていた夏服に袖を通した喜びも束の間、8月6日を迎える。戦争の暗い影に怯えながらも明るく生きた少女たちの日々をアニメーションで、ポロポロに焼けた夏服を形見として守り続ける遺族の深い悲しみをドキュメンタリーで描く。	NHK	32	2005	DVD
A	75	人権と向きあうー違いを認めあうためにー	違いという言葉 키워ドにした作品。「障害がある人」「外国人」「ハンセン病」「部落問題」について、当事者の言葉で観る人の心に訴えかける。	東映(株)	28	2006	DVD
A	76	企業に求められる人権意識とは?	「企業の社会的責任・CSR」「採用選考の基本」「環境問題への取り組み」「派遣社員」「障害者の社会参加」というテーマに基づき、企業に求められる人権意識のあり方を、若い社員の目を通してわかりやすく描いた作品。	東映(株)	24	2006	VHS
A	77	夕映えのみち	地域や家庭内での「無責任なうわさ」や「根強い偏見」が元になり、インターネット等による人権侵害へとつながっていくことがあります。インターネット社会で、私たちは「どう生きるか」「人とどう関わるか」「社会とどうつながっていくか」を考え、「相手を思いやる」ことの大切さを見つめ直す作品。	兵庫県・(財)兵庫県人権啓発協会	38	2006	DVD
A	78	未来をください～戦火の中の子どもたち～	世界のさまざまな地域で起こっている紛争とその戦火の中で犠牲となっている多くの子どもたちの存在を知り、日本に住む私たちに何ができるかを考える作品。	アムネスティ・インターナショナル日本	28	2003	VHS
A	80	人権を行動するーその時あなたは どうしますか?ー	同じ課の女性から上司のセクハラについての相談を受けたら…。顧客名簿の裏をコピー紙として再利用している社員を見かけたら…。両親や親戚から婚約者の出身が理由で結婚を強く反対されている同僚から相談を受けたら…。セクシュアル・ハラスメント、個人情報の保護、部落差別の3つのケースを設定し、自分ならどのように行動するか、できないか、そしてその理由を考える中で、人権をいかに行動につなげていくかを考える作品。※巻末には簡単なチェックリスト付き	東映(株)	25	2007	DVD
A	81	いのちを学ぶ 生きること死ぬこと	この作品は、生と死の現場にいる実際の人々取材し、生活様式の変化とともに、生命の尊さを学ぶ機会が少なくなっている児童・生徒に身近なテーマをとりあげ、命を支える家族や周囲の人々の真摯な姿から命の大切さを訴える内容。●病気と生きる、支える●限られた命を生きる●新しい命の誕生	東映(株)	22	2006	VHS
A	82	ひまわりのように	父のリストラによる転職のため、転校することになった沙也香。しかし、慣れぬ仕事の重圧から心の病にかかる父。沙也香の家族は多くの困難を周りの人の助けを受けながら乗り越えていく…。「本当の幸せとは何か」を問いかける内容。	北九州市・北九州市教育委員会・北九州市人権問題啓発推進協議会	42	2007	VHS
A	83	あした元気になる～れ！～半分のさつまいも～	海老名香葉子さんの「半分のさつまいも」を原作として製作された長編アニメーション映画。空襲で家族を失ったかよ子。世話になっている伯母の手伝いをしながら、残された兄・喜三郎の行方を捜し続けていた。しかし、思い出の詰まった生家の跡地が売りに出されると聞いて、たまたま家飛び出す。翌日、ついに浅草で兄と再会を果たすが…。	「あした元気になる～れ！」製作委員会/榊ルートピクチャーズ/榊サクセロード	90	2007	DVD

記号	番号	題名	内容	企画・発売元	時間(分)	制作年	VHS/DVD
A	84	CSRって何ですか？	CSR＝企業の社会的責任。しかしその内容はさまざまであり、どう取り組めばよいのか、どんなメリットがあるのか、そもそもCSRとは何なのか、きちんと認識している企業は少ないのが現状である。この作品は、実際に企業で行われているCSR活動の事例と担当者へのインタビューを通し、CSRとは何なのかを分かりやすく解説しており、企業の業種を問わず、活用できる内容である。	榊東映	24	2007	VHS
A	85	えっ！これも人権？ —4コマ劇場より—	日常生活のふとした出来事などを例にあげ、「なるほどこれも人権なんだ」と、その大切さに気づく4コマ・マンガと実写でわかりやすく構成。	和歌山県・(財)和歌山県人権啓発センター	30	2007	DVD
A	86	親愛なるあなたへ	一人の人間の気づきと再生を中心に描いたドラマ。一人一人の『気づき』こそが、互いに支え合う力が低下した地域の『再生』につながる。無関心、無理解という冷たい壁を破って、温かい見守りと相互支援を進めることの大切さを語りかける。	(財)兵庫県人権啓発協会	37	2008	DVD
A	87	じんけんの森の大冒険	パソコンやDVDプレーヤーで、大人と子どもと一緒に人権について楽しく学ぶことができるコンテンツを集めている。クイズやお話など、人権を身近で大切なことだと伝える工夫がなされている。	法務省人権擁護局 (財)人権教育啓発推進センター		2008	DVD
A	88	声を聞かせて ※解説書付	平成20年度北九州市人権啓発アニメーション作品。子どもたちがケータイを持つということはどういう環境に子どもたちを置くことを意味するのか、私たちはどう向き合っていけばいいのかを考えさせられる作品。今も差別意識が残されている「同和問題」についても取り上げている。	北九州市、北九州市教育委員会、北九州市人権問題啓発推進協議会	40	2009	DVD
A	89	日常の人権Ⅰ —気づきから行動へ—	「女性の人権」「子どもの人権」「高齢者の人権」について、日常にある偏見への気づきをうながすドラマパートと、差別を受けている人々の心の痛みを伝えるドキュメンタリーパートで構成。どのような考え方や行動が、偏見をなくし共に生きるより良い社会へ変えていけるかを考えるきっかけとなる作品。	東映(株)	23	2009	DVD
A	90	日常の人権Ⅱ —気づきから行動へ—	「外国人の人権」「障がい者の人権」「部落差別」「インターネットでの人権侵害」について、日常にある偏見への気づきをうながすドラマパートと、差別を受けている人々の心の痛みを伝えるドキュメンタリーパートで構成。どのような考え方や行動が、偏見をなくし共に生きるより良い社会へ変えていけるかを考えるきっかけとなる作品。	東映(株)	23	2009	DVD
A	91	おくりびと	誰もが避けることができない「死」というテーマを通して、夫婦の愛、家族の愛、友情や仕事への矜持などを描き出す。生命の大切さ、「死」に対する誤った穢れ意識、職業に対する差別といった問題について考えることができる作品。	2008映画「おくりびと」制作委員会	131	2008	DVD
A	92	一人ひとりの世界人権宣言 ※解説書付	世界人権宣言について、その成り立ちや内容を整理しながら、宣言に謳われている「人権」の実現に向けた取組や課題を、3つの事例を通して訴えている作品。人生の60年近くを誤った隔離政策により療養所で過ごした後、現在は地域社会で生活するハンセン病回復者の姿を通して「移動・居住の自由」を、大阪市釜ヶ崎を拠点に紙芝居劇を上演するグループの活動を通して「社会保障」を、車いすダンスを通じて共通の生きがいづくりに取り組むグループの活動を通して「障がいのある人の権利」を考える。	大阪人権問題映像啓発推進協議会(大阪府、大阪府内市町村、大阪府教育委員会、大阪府内市町村教育委員会)	40 + 23	2009	DVD

記号	番号	題名	内容	企画・発売元	時間(分)	制作年	VHS/DVD
A	93	原爆被害者の人権～語り・浦田藤枝さん～ ハンセン病をめぐる人権～語り・工藤昌敏さん～	〈原爆被害者の人権〉 1. 原子爆弾の被害について 2. 被爆当時の様子(小学校での語り) 3. 被爆者の生活と周りからの差別や偏見 4. 浦田さんから子どもたちへのメッセージ 〈ハンセン病をめぐる人権〉 1. 国立療養所菊池恵楓園について 2. ハンセン病について 3. 厳しい差別や偏見(工藤さんの語り) 4. 工藤さんから子どもたちへのメッセージ	熊本市教育委員会	21 +	2007	DVD
A	94	正直に生きる(水俣病をめぐる人権)～語り・緒方正実さん～ 動物の命をいただき、お肉にする仕事(同和問題)～語り・坂本義喜さん～	〈正直に生きる〉 1. 水俣病について 2. 水俣病の原因 3. 水俣病による緒方家の苦しみ 4. 緒方さんの闘い 5. 緒方さんからのメッセージ 〈動物の命をいただき、お肉にする仕事〉 1. お肉とわたしたちの暮らし 2. お肉にする仕事と差別 3. 牛のミィちゃんとの出会い 4. 坂本さんからのメッセージ	熊本市教育委員会	21 +	2008	DVD
A	95	子どもの人権 いのちの歌 想像する ちから ～語り・むたゆうじさん～ 友達とかかわりあって、助け合う心 ～語り・山下誠一さん～	〈いのちのうた 想像するちから〉 1. むたさんのプロフィール 2. いのちの歌 3. 娘さんへのいじめ 4. 想像するちから ※挿入歌「花のように」「朝の光に」 「もしもボクが小鳥だったら」 〈友達とかかわりあって、助け合う心〉 1. 得意なこと、苦手なこと 2. 自閉症とは 3. かかわりあいを通じた理解 4. 助け合う心	熊本市教育委員会	23 +	2009	DVD
A	96	人権のヒント 職場編 気づきのためのエピソード集 ※ワークシート付	ある会社員の日常を描きながら、日頃は気づかない「人権のヒント」を探り、職場の中で考えたい人権問題について提起する内容。 ～「協働参画」「セクシュアル ハラスメント」「パワー ハラスメント」「双方向のコミュニケーション」「アサーティブな主張」「障がい者との共生」「出自での差別」「ダイバーシティの尊重」について考える～	東映(株)	22	2010	DVD
A	97	人権のヒント 地域編 「思い込み」から「思いやり」へ ※ワークシート付	喫茶店「カフェ・ヒューマンライツ」には、さまざまな思いをいだいた人々が集ってくる。その交流の中から、「人権のヒント」を考え、それぞれの違いを思いやる心の大切さを理解していく内容。 ・結婚したら女性は家庭に入るのが常識？ ・障がいのある人は介護されるべき存在？ ・強く主張して相手を傷つけたり、言い出せなくて自分が傷ついてしまったことはありませんか？ ・同和問題や外国人差別など根拠のない思い込みと決めつけはありませんか？	東映(株)	25	2010	DVD
A	98	響け大地に、人の心に	ドラマ編と解説編の2部構成。 ドラマ編では、小学生とその家族、日本で働く外国人の日常生活を通して、偏見への「気づき」や「学び」の大切さを考えるとともに、いじめと向かい合う主人公の「行動」が「きずな」を深めていく過程を描き、私たちひとりひとりに何が求められているのかを考えることができる。 解説編では、「外国人の人権」「子どもの人権」「同和問題」「ひとりひとりの人権を大切にするために」の4つの課題を設定し、深め合いたい課題を選んで視聴できる。また、話し合いや学習のまとめとして、アグネス・チャンさんがそれぞれの人権課題に対する自分の考えを解説している。	滋賀県	ドラマ編 30分 解説編 11分	2008	DVD
A	99	クリームパン	子どもへの虐待や若者の自殺など社会問題になっている事件を通して、社会や地域の中で孤立している人々に対する正しい理解を訴えるとともに、今一度、「いのち」について自分の問題として考える作品。	兵庫県・(財)兵庫県人権啓発協会/東映(株)	36	2010	DVD

記号	番号	題名	内容	企画・発売元	時間(分)	制作年	VHS/DVD
A	100	あなたの職場は大丈夫？ ※解説書付	「セクハラ」「パワハラ」「えせ同和行為」をテーマに取り上げた3つのドラマを通じて、視聴した一人ひとりが人権問題に向き合い、人権について考えていくことを目的とした作品。	法務省人権擁護局(財)人権教育啓発推進センター	14 + 14 + 18	2011	DVD
A	101	いわたくんちのおばあちゃん～ぼく、戦争せんけえね～	友だちのおばあちゃんである、ちづこさんの話を聞くうちに、原爆のことや戦争のことを自分の問題としてとらえ、平和への決意をしていく小学生、貫太の姿をえがく。多くの人名を奪い、最悪の人権侵害ともいえる戦争について学び、平和や命の大切さを考えることができるアニメーション作品。	東映(株)	20	2009	DVD
A	102	くらしの中の人権問題 会社編 ※ワークシート付	会社で女性社員に不愉快になるような発言をしてしまう部長…、仕事のミスを厳しく叱られ出社できなくなる若手社員…。ドラマ編では、両者の言い分に食い違いがある状況を描き、視聴者に考えることを促す作品。ドキュメンタリー編には、セクシュアルハラスメントについて有識者が語る。	(株)ドラコ	20	2010	DVD
A	103	くらしの中の人権問題 家庭編 ※ワークシート付	親の権利と子どもの権利のぶつかり合い…、子どものしつけと虐待の境界線とは…、家庭での男女の役割分担は差別にあたるのか…、家庭内で孤立する高齢者…。ドラマ編では、実生活でも起こりうる場面を通して、視聴者に考えることを促す作品。ドキュメンタリー編ではDV被害者が自身の体験を語る。	(株)ドラコ	22	2010	DVD
A	104	くらしの中の人権問題 地域編 ※ワークシート付	障害のある方、外国の方、ホームレスの方が自身の経験を語り、さまざまな理由で社会参加に困難を伴う方に対し、それぞれができることを考えるよう促す作品。	(株)ドラコ	20	2010	DVD
A	105	メッセージ “私たちと人権” 第1巻	さまざまな人権問題と関わる、当事者からのメッセージを通して、差別のない、お互いが尊重される社会の実現に向けて、“私たちと人権”について、一緒に考えることができる作品。出演は香山リカさん、長倉洋海さん、辛淑玉さん、石川一雄さん。	(社)神奈川人権センター	60	2011	DVD
A	106	メッセージ “私たちと人権” 第2巻	さまざまな人権問題と関わる、当事者からのメッセージを通して、差別のない、お互いが尊重される社会の実現に向けて、“私たちと人権”について、一緒に考えることができる作品。出演は両宮処凜さん、藤木勇人さん、サヘルローズさん、神美知宏さん。	(社)神奈川人権センター	60	2011	DVD
A	107	はだしのゲンが伝えたいこと ※解説書付	漫画家・中沢啓治さんが『はだしのゲン』のストーリーの元になった、自らの被爆体験を語る。中沢さんの克明な語りとともに、今も鮮やかに残る力強い『はだしのゲン』の原画を多数収録、戦争や原爆の恐ろしさと同時に、命の大切さやかけがえのない家族への思いを伝える作品。	シグロ、トモコーポレーション	32	2011	DVD
A	108	探梅 春、遠からじ ※解説書付	平成22年度北九州市人権啓発アニメーション作品。人権課題の多くは人を排除する意識から生まれ、人が孤立することで深刻化していく。この「排除」や「孤立」を生み出す社会ではなく、互いに違いを認め、支え合い、あらゆる人を包みこむ社会を築くために、北九州市が展開する「いのちをつなぐネットワーク」を取り上げ、「包みこむ社会」に焦点を当てた作品。	北九州市北九州市教育委員会 北九州市人権問題啓発推進協議会	40	2010	DVD
A	109	失われたいのちへ誓う 東日本大震災が教えたこと	東日本大震災は、豊かさや平和の中で、当たり前と思っていた生活のすべてが、実はかけがえのない、ありがたいものだったことを私たちに痛感させた。人と人の絆、一人ひとりのいのちを大切に生きる方を私たちがはしていたのか？被災した人々、震災によって多くを失った人々の声を紹介しながら、私たちの今を振り返り、これからをどう生きるのかを共に考える作品。	フォア・ザ・ワン・プロジェクト	20	2011	DVD

記号	番号	題名	内容	企画・発売元	時間(分)	制作年	VHS/DVD
A	110	今、地域社会と職場の人権は！	この作品は、「高齢者の問題」「子育てする女性の問題」「パワハラ・セクハラの問題」「同和問題」に焦点をあて、研修が行いやすい4部構成になっている。	共和教育映画社	36	2011	DVD
A	111	あなたの偏見、わたしの差別 ～人権に気づく旅～	人権という言葉はよく耳にするが、自身の問題として考える機会は少ないのではないかと。しかし、少し視野を広げてみれば、身の回りには様々な人権に関する問題や課題がある。本作では、人権問題に興味を持つ若者4人に集まってもらった。彼らが気づき、体験し、感じたことは、まさに人権に向き合うための旅とも言える。4人の中で深まっていく議論とそれぞれの意見は、人権問題を考えるための確かな手掛かりになるはずである。	東映(株)	30	2012	DVD
A	112	ほんとの空	高齢者や外国人に対する排除、不利益な扱い、同和問題や原発事故に伴う風評被害の問題、これら多くの人権課題に共通する根っこ部分は私たちの誤った考え方や思い込み、偏見という「意識」である。誤解や偏見に気づき人と深く向き合うこと、他者の気持ちを我がこととして思うこと。すべての人権課題を自分に関わるものとして捉え、日常の行動につなげてもらうためのドラマである。	東映(株)	36	2012	DVD
A	113	活かそう!職場のダイバーシティ(多様性)① 一人一人がいきいきと働くために(社員向け)	働く環境は雇用や勤務形態、性別や国籍、障がいの有無など従来以上に多様化が進んでいる。そのような環境で一人一人がいきいきと働くために、多様な個性を活かすコミュニケーションを解説する。	自己啓発協会	25	2009	DVD
A	114	活かそう!職場のダイバーシティ(多様性)② 多様性を活かすリーダーになるために(管理職向け) ※解説書付	働く環境は雇用や勤務形態、性別や戸籍、障がいの有無など従来以上に多様化が進んでいる。そのような環境で周りの力を活かしながら自分自身も力を発揮するために、コミュニケーションとリーダーシップのあり方を学ぶ。	自己啓発協会	25	2009	DVD
A	115	虐待防止シリーズ	「児童虐待」「高齢者虐待」「ドメスティック・バイオレンス(DV)」の事例をドラマで描き、問題点や第三者としての関わり方を専門家のコメントと共に紹介する。虐待を他人事ではなく身近な問題として捉え、虐待の防止・解決について考えることを目的としている。	法務省人権擁護局(公財)人権教育啓発推進センター	46	2012	DVD
A	116	いのちをいただく (館内上映、個人貸出可/ 館外上映はできません)。	食べるということはいのちをいただくということ。いただきます、ごちそうさまを心をこめて言えるように…そんな願いをこめて作られたお話である。今貴方が食べているものには、いのちがあって、それを育てる人がいて、それを食べ物にしてくれる人たちがいる。そのことを、食べるときに思い出し心を込めて食べられるように・・・。	(株)アースドラゴン		2013	DVD
A	117	それぞれの立場 それぞれのきもち ー職場のダイバーシティと人権ー	職場で働く者それぞれの立場や価値観の違いを認め合い、個々が能力を発揮するにはどうすればいいか。ダイバーシティの考えに沿い、ヒントを示していく作品。	東映(株)	32	2011	DVD
A	118	ヒーロー 「無縁社会と家族」 ～生きること つながること～	主人公の行男は、働き盛りのサラリーマンであり、地域社会との縁を持たなかったが、あるきっかけから地域とかかわるようになる。「無縁社会」と呼ばれる社会状況の中で、地域で起こる身近な人権問題に対し、傍観者としてでなく主体的に行動することで新たな地域のつながりを結んでいく大切さを実感してもらうために、制作された作品。	企画：兵庫県・(公財)兵庫県人権啓発協会 製作：東映(株)	34	2013	DVD
A	119	家庭の中の人権カラフル	両親と人生の巣立ちの時を迎えた子どもたちの会話を通じて、家庭の中にある人権問題を取り上げたビデオ。一人ひとりが「人権」に対する意識と知識を高め、家庭内で話し合うきっかけとなるように、制作された作品。	東映(株)	34	2013	DVD
A	120	秋桜の咲く日	発達障害のある人の生きづらさや痛みを真摯に伝えるとともに、「違い」が生み出すプラスのエネルギーを美しく群生するコスモスの花々と重ね、「ともに生きることの喜び」を伝えるための教材。	企画：北九州市ほか 製作：東映(株)	34	2013	DVD

記号	番号	題名	内容	企画・発売元	時間(分)	制作年	VHS/DVD
A	121	家庭の中の人権 生まれ来る子へ	祖父母と孫夫婦の会話を通じて、家庭の中にある人権問題を取り上げたビデオ。家庭の中で、人権の尊さについて語り合い、伝えていくことは、すべての「いのち」を大切にすることでもある。気づくこと、そして、行動することの大きさに気付くことのできる教材である。	東映(株)	25	2013	DVD
A	122	ココロ屋	先生に「心を入れ替えなさい」と叱られたヒロキの前に現れたのは、いろいろな心に取り替えてくれる「ココロ屋」だった。自分の心を大切に、相手の心も大切にするという、人権教育の基本的な考え方が盛り込まれており、道徳教材・人権教材として活用できる教材。日本視聴覚教育協会平成26年度優秀映像教材選奨優秀作品。	(株)東映	25	2014	DVD
A	123	桃香の自由帳	核家族化や都市化が進む中、人々の地域などへの意識が大きく変わり、互いにふれあい、支え合うことが少なくなってきた。同じ地域に暮らしていても、名前も知らず相手を誤解して排除したりするなど、気づかないうちに「人とのつながり」を自ら断ってしまうことがある。どの地域でも起こりうることに光を当て、日常の何気ない言動を振り返ることで、見失いつつある人と人が寄り添い、共に生きる温かな世界とは何かを語りかける教材。	兵庫県、 (公財)兵庫県人権啓発協会	36	2011	DVD
A	124	未来を拓く5つの扉	全国中学生人権作文コンテストでの、次代を担う中学生が、身の周りで起きたいろいろな出来事や自分の体験などから、人権について考えています。この作品では入賞作品の中から5編の作文を朗読してアニメーションやイラストで紹介している。	法務省人権擁護局 (公財)人権教育啓発推進センター (株)桜映画社	46	2014	DVD
A	125	なぜ企業に人権啓発が必要なのか	人権啓発を考えるヒントを、企業を舞台に日常の会社生活の一コマを切り取ったわかりやすいドラマとして構成し、あらためて考えていただけるよう制作された教材。	東映(株)	22	2015	DVD
A	126	多様性を尊重した職場のコミュニケーションと人権I(ハラスメントを生まないために)	現代企業において、「パワハラ」や「セクハラ」は周囲が気づきやすいハラスメントであるが、多様化する職場や人間関係の中では、ちょっとしたコミュニケーションの不和によって様々なハラスメントの芽は発生している。その芽を摘む為にもよりよいコミュニケーションが重要となってくる。どこの企業でもあり得そうなショートドラマとその振り返りを通じて、多様性を尊重したコミュニケーションとは何かを考えさせるドラマ教材である。	東映(株)	25	2015	DVD
A	127	多様性を尊重した職場のコミュニケーションと人権II(個に向き合い、伝え合う)	外国人社員や障がいのある社員の増加等、あらゆる場面で職場の多様化が進む現代社会。企業で働くメンバーが、相手の多様性(個)に目を向け、それを尊重するコミュニケーションをとることが必要となってきた。相手の価値観や想いに目を向け、それを意識することで円滑で働きがいのある職場になる。企業の多様化が原因で発生する人権課題とその解決のヒントを分かりやすく描くドラマ教材である。	(株)東映教育映像部	25	2015	DVD
A	128	imajinationイマジネーション 想うつながる 一歩ふみだす	リスナーから悩み相談を受けたり、ゲストの解説者にコメントをもらうなどの番組構成の、ある小さなFMラジオ番組。リスナーたちはラジオを聴くほか、パソコンやスマートフォンで番組映像を見てコメントを送ったり、メッセージを受け取ったりという形でゆるやかにつながっている。様々な人々が番組を軸に心を通わせ、明日へとつながる一歩を見つけていく、そんな東京のワンナイトストーリー。「子どもの人権ーいじめ問題」「同和問題」「障がい者の人権ー発達障がい」のドラマで構成された作品である。	東映(株)	34	2015	DVD

記号	番号	題名	内容	企画・発売元	時間(分)	制作年	VHS/DVD
A	129	新・人権入門	セクハラ、パワハラ、LGBT、ジェンダー等のテーマについて、企業の人事担当者から取材した実際の出来事を16のショートドラマで再現。ドラマにはどんな人権課題が含まれていたのか？自分がそのシーンに遭遇したらどうするか？ドラマを演じた俳優たちがそのシーンを振り返り、職場における人権課題について意見交換を行う。視聴者がドラマの出演者と一緒に学び、悩み、考えることのできる教材である。	東映(株)	25	2015	DVD
A	130	すべての人々の幸せを願って～国際的視点から考える人権～	世界には、性別や人種、皮膚の色の異なる人々、大人や子ども、障がいのある人など、一人ひとり違いを持ったたくさんの人々が暮らしています。すべての人々の人権が尊重され、相互に共存し得る、平和で豊かな社会を実現するためには、私たち一人ひとりが人権に対する理解を深め、相手の違いを認めつつ、同じ一人の人間として相互に尊重し合うことが必要です。	法務省人権擁護局 (公財)人権教育啓発推進センター	35	2015	DVD
A	131	企業活動に人権的視点を～CSRで会社が変わる・社会が変わる～	経済産業省中小企業庁の委託事業として作成されたもの。CSR(企業の社会的責任)や人権課題に対する企業の取り組みを啓発推進するという視点から、企業にとって関心の高いテーマに関する事例を分かりやすくまとめている。中小企業をはじめとするあらゆる組織の経営者や関係者向けの内容。	(公財)人権教育啓発推進センター	103	2014	DVD
A	132	わっかカフェへようこそ～ココロまじわるヨリドコロ～	町の路地にたたずむ小さなカフェ「わっかカフェ」に集まる人々のエピソードをオムニバス形式で紹介。インターネットによる人権侵害・高齢者の人権・外国人の人権という3つの切り口から、身近な人権問題について考えることができる作品。	東京都教育委員会・東映(株)	35	2016	DVD
A	133	フェアな会社で働きたい	企業がさまざまなステークホルダーの人権を尊重することは、現代の企業にとって必須のことであり、またそのための社員教育も重要になっている。人事部の新入社員の体験を通して、企業における人権のありかたと公正な採用選考について学ぶことができる作品。(テーマ:セクハラ、パワハラ、外国人、障がい者、女性活躍)	東映(株)	25	2015	DVD
A	134	光射す空へ	大学生たちの悩みと学びを通して、「正しい知識と理解」「多様性の受容と尊重」の大切さを描いたアニメーション作品。若年性認知症と診断された主人公の父が、記憶や理解力を失っていくこと、主人公が大学の課題として学ぶ同和問題、自身がトランスジェンダーであることに生きづらさを感じている主人公の幼なじみ…誰もが人権を尊重され自分らしく生きていける社会について考えてみませんか。	北九州市・東映(株)	32	2016	DVD
A	135	わたしたちが伝えたい、大切なこと	アニメで見る全国中学生人権作文コンテスト入賞作品にもとづいて制作された3つのアニメーション。	法務省人権擁護局、 (公財)人権教育啓発推進センター	31	2017	DVD
A	136	企業と人権 職場づくりから人権尊重社会	セクハラやパワハラなどのハラスメントなどについて、企業向けに実施する研修会等で活用しやすいように、ドラマや取材、解説も交えて構成。	法務省人権擁護局、 (公財)人権教育啓発推進センター			DVD
A	137	わからないから、確かめ合うーコミュニケーションー	ハラスメントや差別取扱いなど、企業が直面する人権課題に関して、外国人、障がい者、LGBT、同和問題の各テーマごとに人権尊重の考え方を積極的に学ぶ。	東映(株)	29	2018	DVD
A	138	公正な選考採用が企業にもたらすもの	企業において、採用選考は会社の未来を描くための大切な業務であり、公正な採用選考の意義や、公さをいかに守っていくかなどについて、企業の採用担当者の目線でわかりやすく描く。	東映(株)	25	2018	DVD
A	139	身近な人権問題 人権は小さな気づきから	「こんな時、あなたはどうしますか？」身近な人権問題8項目を題材に、気づきを促すための教材です。人権は心の問題であり、命の問題です。一人ひとりが人権に対する意識を少しずつ持つ事で、救える命もあります。	株式会社映学社	34	2017	DVD

記号	番号	題名	内容	企画・発売元	時間(分)	制作年	VHS/DVD
A	140	お互いを活かすための人権シリーズ① 多様性入門	多様性とは、ある集団が多様な人を受け入れるという認識ではなく、集団に属する全ての個人がそれぞれに個性を持ち、それぞれの違いをお互い認め、活かすことだということをテーマに捉えています。	東映(株)	25	2019	DVD
A	141	その人権問題わたしならどうする？	人権の知識があっても、複雑な人間関係が絡み合い、自分が正しいと考える方を選択することが困難な場合があり、さまざまな人権問題を通して、もしもその立場になったら自分はどの行動するかを考える視聴者参加型の人権学習映像。	フルーク映像(株)	54	2018	DVD
A	142	家庭からふりかえる人権 話せてよかった	夫婦、親子のような親しい関係性において、一人の人間として尊重する意識がおろそかになってしまうことがあり、家庭の人間関係をふりかえることで、組織や会社における人権意識も見つめ直すというもの。	東映(株)	27	2020	DVD
A	143	なぜ公正採用選考は基本なのか	公正採用選考をすることは、企業にとって基本であるというテーマであり、さまざまな部署の多様な意見を受け止め、応募者が質問を受けたときどう感じるか。不適切な質問とはどういうもので、なぜ不適切なのか。また、逆に適切な質問とはどのようなものか。そもそも、なぜ公正採用選考をすることは基本なのか向き合っていく内容である。	東映(株)	25	2019	DVD
A	144	「違い」を「力」にするためにー職場のコミュニケーションのヒントー	もともと、人と人には違いがあり、コミュニケーションはその違いを乗り越えるための重要な手段であるともいえるが、「職場の人権」を考えるうえで、「違い」を「力」にしていくために、どんなコミュニケーションのあり方でそれを実現していけるのかについて事例を通して考えていく。	東映(株)	26	2020	DVD
A	145	シェアしてみたらわかったこと	異なる立場同士がシェアハウスをする中で、お互いが新たな気づきを得ていくストーリー。専門家のアドバイスや当事者の声を交えながら、外国人、LGBTs、災害時の人権などについてふれている。	東映(株)	46	2019	DVD
A	146	企業活動に人権的視点を②ー会社や地域の課題を解決するためにー	経済活動のグローバル化や技術革新などにより、企業が社会に与える影響は、ますます大きくなっています。これに伴い、地球環境への関心が広がり、国際的な人権意識の高まりなど、企業が果たすべき社会的責任・CRSが問われる時代になってきました。企業は顧客、取引先、株主、地域社会、従業員など、実に様々な人々と関わりながら活動をしています。多くの人から支えられている企業であるからこそ、これらの人々に誠実に対応していく必要があります。このビデオでは、どのように取り組むことが企業内外の人々のためになり、地域や環境のためにもなるのか、先進的な5つの取組事例を紹介しています。	(公財)人権教育啓発推進センター(株)桜映画社	97	2019	DVD
A	147	にんげん図鑑 人権問題と向き合うために(一般向け)	長年に亘る熱い要望を受け制作された画期的ビデオ！マイノリティをテーマ・題材に人間に寄り添う映像制作を続ける田中幸夫監督のドキュメンタリー映画とビデオ作品を再構成。 部落、在日、ダウン症、ユニークフェイス、認知症、LGBTなど、あらゆる人権課題に対する向き合い方を、大人にも子どもにも分かりやすく提示する。	フルーク映像(株)	30	2020	DVD
A	148	みんなで語ろう！公正な採用選考	企業の人事部門担当者にとって、公正な採用選考の知識とそれを具現化する技能は体得しておくべきものです。このDVDでは、職場でありがちな採用選考にかかわる事例を短く取り上げ、その事例から考えるべき公正採用選考の基本的な考え方を学ぶものです。悩める3人の採用担当者が、講師のレクチャーを受けながら考え、学び、語り合うスタイルで、わかりやすく公正な採用選考を読み解いていきます。	東映(株)	26	2013	DVD
A	149	人権啓発は企業にどんな力をもたらすのか	今、企業は利潤追求という価値観だけでなく、社会にとって責任ある存在であるという立場が求められています。そのために、企業内で人権啓発の必要性が高まっています。そこで、この作品では、企業に働く人が人権の視点を取り入れて仕事に関わっていくことが企業にどんな力をもたらすかということ、ドラマ形式で事例を取り上げながら考えていきます。	東映(株)	25	2017	DVD

記号	番号	題名	内容	企画・発売元	時間(分)	制作年	VHS/DVD
A	150	ドラマで学ぶ人権問題の事例集 わたしと人権1	私たちの周りには、さまざまな人権問題があります。そして私たちは誰もが人権問題の被害者にも、加害者にも傍観者にもなる可能性があります。人権問題に直面したとき、自分ならどうするか？さまざまな事例を通して、考えてみましょう。 1 ジェンダー、障害者、セクシャルハラスメント、高齢者虐待、同和問題、発達障害、こどもの虐待、精神疾患	(株)ドラコ	26	2020	DVD
A	151	ドラマで学ぶ人権問題の事例集 わたしと人権2	私たちの周りには、さまざまな人権問題があります。そして私たちは誰もが人権問題の被害者にも、加害者にも傍観者にもなる可能性があります。人権問題に直面したとき、自分ならどうするか？さまざまな事例を通して、考えてみましょう。 2 インターネットいじめ、ホームレス、パワーハラスメント、いじめ、性同一性障害	(株)ドラコ	24	2020	DVD
A	152	どうしてそんなこと聞くの 公正な採用選考のために	公正な基準に則ったエントリーシートを活用することは、採用選考の新たな可能性につながる反面、問題事例も発生している。エントリーシートのあり方を考えることをきっかけに、予断や偏見を取り払い、適性と能力のみを判断基準とする公正な採用選考のために必要なことを学ぶことができる作品。	東映(株)	27	2010	DVD
A	153	本当の出会いのために エントリーから始まる公正採用選考	企業の採用先行におけるエントリーから筆記試験、面接といった一連の流れの中で、いかにして受験者の基本的人権を守り、企業にとっても受験者にとっても望ましい採用選考のあり方が実現できるかを、ドラマスタイルで提起しています。	東映(株)	27	2011	DVD
A	154	だれにでも開かれていますか？～公正な採用選考を求めて～	企業が、採用選考において門戸を広く開き、人権に対する感覚を高めていくことが重要であるという視点で制作した、ドラマ形式の啓発教材。	東映(株)	28	2012	DVD
A	155		「ビジネスと人権に関する調査研究」報告書に基づき、企業が「ビジネスと人権」に関する取組を進めるに当たり、参考となる情報をドラマやCG、ナビゲーターによる解説などで分かりやすく紹介している研修用動画です。	法務省人権擁護局、(公財)人権教育啓発推進センター	36	2022	DVD
A	156	言葉があるから…～無自覚の差別「マイクロアグレッション」～	あからさまな差別表現でなくても、無自覚に相手の尊厳を傷つけている言動のことを指す「マイクロアグレッション(小さな攻撃性)」。その言動の背景には、国籍や人種、性別、性的指向など、特定の属性の人たちへの軽視や偏見が隠れていることがあります。 自覚なく加害者にならないために……。属性にとらわれずに、ありのままのその人と向き合うことの大切さを、描いています。	東映(株)	31	2023	DVD
A	157	お互いを活かしあうための人権シリーズ⑥ 小さな歩みを見つけよう ～職場の人権 気づきポイント集～	ある会社の人権啓発室メンバーが社内外の取材をもとに再現ドラマを作り、社内特設サイトで公開。社内のチャットツールを通して集まった感想コメントを受けて、メンバーが多様な人権への気づきを探していきます。テレワークの普及などで職場での働き方がますます多様になってきている今、“仲間とともに自分らしく働く、ために”。	東映(株)	24	2021	DVD
A	158	誰一人取り残さないための職場の人権シリーズ① よかったら”想い”を聴かせて ～自分も相手も大切にするために～	職場における6つの人権テーマを切り口に、相手の想いを聴くこと・自分の想いを伝えること・お互いを受け止め合うことの大切さを登場人物たちと共に考えていきます。職場の誰ひとり取り残さないために、自分も相手も大切にするためにどういったコミュニケーションが必要なのか？	東映(株)	29	2022	DVD